さぁ、答え合わせをしよう！

第18週目 11／16 行ってみよう～兵庫県（ひょうごけん）からの出題

※ココを見てね！▶行ってみよう～兵庫県（ひょうごけん）

1. 古代の兵庫県（ひょうごけん）は、5つの地域（ちいき）からなります。但馬(たじま)、丹波（たんば）、摂津（せっつ）、淡路（あわじ）、あと1つは？

正解：②播磨国（はりまのくに）

因幡国（いなばのくに）は現在の鳥取県鳥取市（とっとりけんとっとりし）、山城国（やましろのくに）は京都府木津市（きょうとふきずし）にあたります。兵庫県（ひょうごけん）は、日本の時刻（じこく）を決める子午線(しごせん)が通っている県で、北と南は海に面し、東は京都府(きょうとふ)と大阪府(おおさかふ)、西は鳥取県(とっとりけん)と岡山県(おかやまけん)に接(せっ)し、徳島県(とくしまけん)とは、大鳴門橋(おおなるときょう)でつながっています。正解は②播磨国（はりまのくに）。「用語じてん」の【むかしの日本地図】で、今の都道府県（とどうふけん）との違（ちが）いを見比（みくら）べてみてね。

2. 兵庫県（ひょうごけん）が、全国第1位の出土数です。それは、何？

正解：①銅鐸（どうたく）

1.の回答（かいとう）でも説明（せつめい）したように、兵庫県（ひょうごけん）は、いろんな国や地域（ちいき）と接（せっ）していたことで、大昔からひとやモノの行き来が盛（さか）んに行われていたんですね。現在のところ、銅鐸（どうたく）の全国出土数（しゅつどすう）は、532個。そのうち68個が、兵庫県(ひょうごけん)から出土（しゅつど）しています。そう、正解は①銅鐸（どうたく）です。また、これまでに見つかった遺跡（いせき）や古墳（こふん）の数も、全国第1位です。

3. 宮山古墳（みややまこふん）から出土（しゅつど）した、珍（めずら）しいものは何ですか？

正解：①垂飾式（すいしょくしき）耳かざり

現代人（げんだいじん）も、オシャレの一つとして、指輪（ゆびわ）やイヤリング、ネックレス…などを組み合わせてファッションを楽しみます。それは、大昔の人たちも同じなんですね。宮山古墳（みややまこふん）からは、朝鮮半島（ちょうせんはんとう）で作られたと思われる品がたくさん出土（しゅつど）しましたが、美しい細工（さいく）がほどこされたイヤリングはとても珍（めずら）しいものでした。正解は、①垂飾式（すいしょくしき）耳かざり、耳から垂（た）れ下がるデザインのイヤリングのことです。ちなみに、「けつ状（じょう）」とは古代（こだい）中国の装飾用玉器（そうしょくようぎょっき）と似（に）た形であることからそう呼ばれています。そして、「垂飾式（すいしょくしき）鼻かざり」とは???…こちらは、ひっかけ回答でした。

4. 兵庫県から出土した国宝（こくほう）の銅鐸（どうたく）の名前は？

正解：③桜ヶ丘銅鐸（さくらがおかどうたく） **※①袈裟襷文銅鐸（けさだすきもんどうたく） も正解（せいかい）**

陶芸（とうげい）用の土を採取（さいしゅ）していた業者（ぎょうしゃ）が偶然（ぐうぜん）見つけ、出土（しゅつど）した銅鐸（どうたく）を店先にならべていたのを見かけたことから発掘調査（はっくつちょうさ）がはじまり、のちに、「桜ヶ丘銅鐸（さくらがおかどうたく）・銅戈群（どうかぐん）」として国宝（こくほう）に指定（してい）されました。正解は、③桜ヶ丘銅鐸（さくらがおかどうたく）。ただし、3個の流水文銅鐸（りゅうすいもんどうたく）と11個の袈裟襷文銅鐸（けさだすきもんどうたく）からなるため、①袈裟襷文銅鐸（けさだすきもんどうたく） も正解です。弥生時代（やよいじだい）の人々のくらしを知るための重要（じゅうよう）な手がかりと考えられています。 **※神戸市立博物館(こうべしりつはくぶつかん)で展示（てんじ）されていますが、展示中（てんじちゅう）かどうかは確認（かくにん）してから出かけてね。**

5. 池田古墳（いけだこふん）から、かわいい水鳥の埴輪（はにわ）が出土しました。さて、何個でてきましたか？

正解：②23個

正解は、②23個。お宝ベスト5の5つ目に紹介されているので、解説（かいせつ）の必要（ひつよう）はありませんね。とてもかわいい水鳥の埴輪（はにわ）たちの本物に、会ってみたくなりますね。 **※兵庫県立考古博物館(ひょうごけんりつこうこはくぶつかん)で展示（てんじ）されていますが、展示中（てんじちゅう）かどうかは確認（かくにん）してから出かけてね。**